

平成30年度

大町市民のスポーツに関する アンケート調査結果

アンケート調査結果の考察

アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・	1
◇調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
①基本情報（問1～5）・・・・・・・・	2
②現在のスポーツ活動（問6）・・・・・・・・	5
③今後のスポーツ活動（問7）・・・・・・・・	12
④市が行うスポーツイベント（問8～10）・・・	13
⑤スポーツに関する情報（問11～12）・・・	15
⑥スポーツ施設（問13～15）・・・・・・・・	16
⑦ボランティア活動（問16～17）・・・・・・・・	19
⑧総合型地域スポーツクラブ（問18～21）・・・	21
⑨スポーツ施策全般他（問22・23）・・・・・・	26

【アンケート結果の考察】

今回のアンケート調査は、平成24年度に続き2回目の調査です。

○スポーツ活動について（問6・問7）

一週間に一回以上習慣的にスポーツをしている市民の割合は48.6%と半数以下となっています。また、国や県が目標としている「成人のスポーツ実施率」では、34.8%と非常に低い状況であり、定期的に運動・スポーツを行うよう習慣化を図っていく必要があります。

また、運動・スポーツを行う理由では「健康・体力づくり」が35%、「運動不足」が12%など、健康面からの理由が多くなっています。

運動・スポーツを行わない理由では「家事や仕事が忙しくて時間がないから」が21%と最も多くなっていますが、38%の人が「時間に余裕ができれば」スポーツをする時間が増えると答えています。きっかけや条件を整えば、スポーツをする人が増えると考えられます。

○スポーツ施設について（問15）

新たな公共スポーツ施設については、82%の人が「既存施設の改修で対応」又は「不要」としており、現在の施設の維持管理等、充実を図っていく必要があります。

○ボランティア活動について（問16・問17）

スポーツに関わるボランティア活動を行ったことのある人の割合は19%、また、ボランティア活動を行いたいと考えている人は26%と、少ない状況です。今後は、よりボランティアが必要になると考えられ、「支える」スポーツとしての取組が必要です。

○総合型地域スポーツクラブ（問18・問19）

総合型地域スポーツクラブを「知っている」「聞いたことがある」人は24%と、まだまだ認知度が低い状況ですが、6割の人が「加入したい」「条件が合えば加入したい」と答えており、加入を促進するためにも、活動内容や役割等を市民への周知していく必要があります。また、子供から高齢者まで、様々な年代において、多種多様な活動ができるよう、クラブの育成、整備が必要です。

中学校期のスポーツ活動については、従来の部活動から社会体育への方針が示され、総合型地域スポーツクラブが受け皿として期待されています。現在、各中学校では、スポーツクラブ化を進めていますが、外部指導者の確保や育成、クラブ運営等、課題の解決に向けた取組が必要です。

○スポーツ振興に係る人材育成（問21）

スポーツ振興のための人材育成については、「各競技の指導者、審判員育成のための研修会の開催」が40%、「体育協会の組織強化」が20%となっています。

今後のスポーツ振興を図る上では、競技スポーツだけでなく、健康増進や体力づくりにおいても、指導者等の育成など技術力を上げていく必要があります。各スポーツ団体の体力が低下しているなか、体育協会を中心に組織の育成、強化を図るとともに、各競技において指導者を育成、確保していく必要があります。

○市のスポーツ推進（問22）

大町市のスポーツを推進するためには、「幼児から高齢者まで各年齢層にあったスポーツ活動の機会を増やす」が15%と最も多く、次いで「子どもたちの体力が向上する事業」が11%となっています。市民の皆さんが、生涯にわたりスポーツに取り組める環境の整備が重要です。

調査の概要

(1) 調査の目的

市民が日ごろどの程度スポーツに関わっているのか、またスポーツに関する実態を調査することで、大町市スポーツ推進計画及び市民の皆さんのスポーツ推進に反映するもの

(2) 主な調査内容

本調査では上記の目的に基づき、次の調査内容を取り上げた。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ①基本情報（問1～5） | ②現在のスポーツ活動（問6） |
| ③今後のスポーツ活動（問7） | ④市が行うスポーツイベント（問8～10） |
| ⑤スポーツに関する情報（問11～12） | ⑥スポーツ施設（問13～15） |
| ⑦ボランティア活動（問16～17） | ⑧総合型地域スポーツクラブ（問18～21） |
| ⑨スポーツ施策全般他（問22・23） | |

(3) 調査対象 6歳以上の大町市民1,000人

(4) サンプル抽出 住基データからの等間隔抽出方式による。

(5) 調査方法 郵送法

(6) 調査実施期間 平成30年8月20日から平成30年9月20日

(7) 集計方法 手作業

(8) 回収状況と回収率

抽出 サンプル	宛名不明 で返送等	回収 不能票	回収票			回収率 (%)	有効回収 率 (%)
			計	無効票	有効票		
1,000	2	661	337	2	335	33.8%	33.6%

(9) 回答者内容

性別

調査回答者	男	女	未記入	計
	46.6%	53.4%	0.0%	100.0%

性・年齢別

調査回答者	小学1～3年		小学4～6年		中学生		16～19歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女
	3.9%	3.9%	5.9%	4.8%	6.8%	4.8%	3.3%	3.6%
	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代	
	男	女	男	女	男	女	男	女
	3.3%	3.0%	4.8%	6.6%	4.5%	4.2%	4.8%	6.8%
	60歳代		70歳代		未記入	計		
	男	女	男	女			0.0%	100.0%

地区別

大町	平	常盤	社	八坂	美麻	未記入	計
47.7%	13.1%	23.9%	7.8%	5.7%	1.5%	0.3%	100.0%

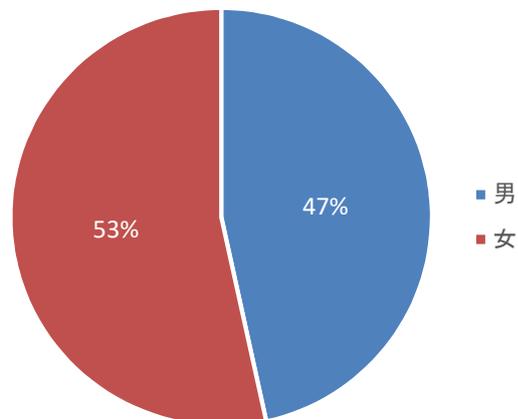
職業別

農林漁業	自営業	会社員、公務員	パート	学生	専業主婦	その他	未記入	計
3.6%	4.8%	26.3%	8.4%	38.8%	8.6%	9.2%	0.3%	100.0%

(1) 基本情報

問1 あなたの性別を教えてください。

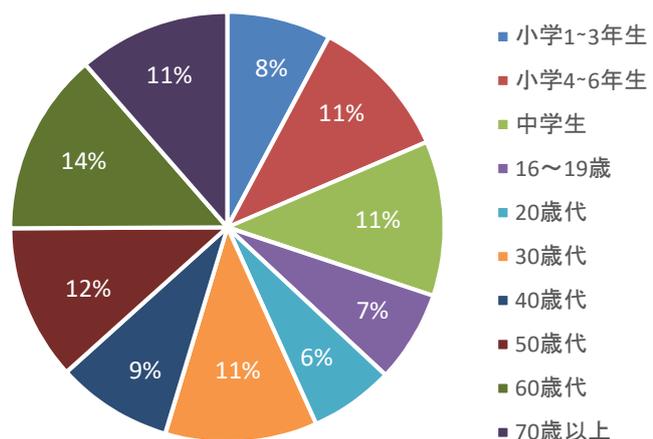
性別	回答数
1 男	156
2 女	179
計	335



- ◆ 小学生以上の大町市民1,000人にアンケートを実施しました。335件(回収率33.6%)の回答がありました。
- ◆ 男女の回答比率は、男性47%、女性53%です。

問2 あなたの年齢を教えてください。

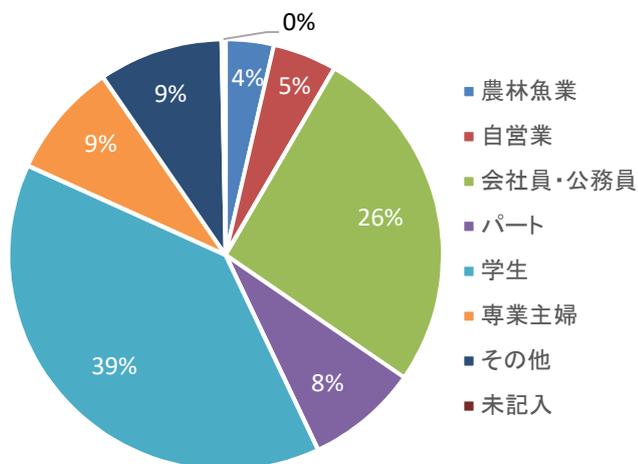
世代	回答数
1 小学1~3年生	26
2 小学4~6年生	36
3 中学生	39
4 16~19歳	23
5 20歳代	21
6 30歳代	38
7 40歳代	29
8 50歳代	39
9 60歳代	46
10 70歳以上	38
計	335



- ◆ 小学生以上を対象にアンケートを実施しましたが、20歳代が7%、16~19歳が8%と少なめの回答率でした。

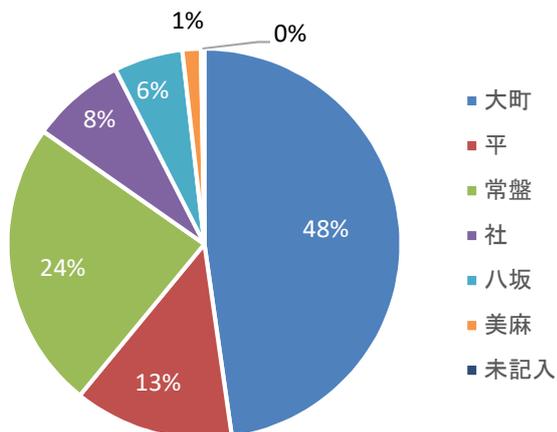
問3 あなたの職業を教えてください。

職業	回答数
1 農林魚業	12
2 自営業	16
3 会社員・公務員	88
4 パート	28
5 学生	130
6 専業主婦	29
7 その他	31
8 未記入	1
計	335



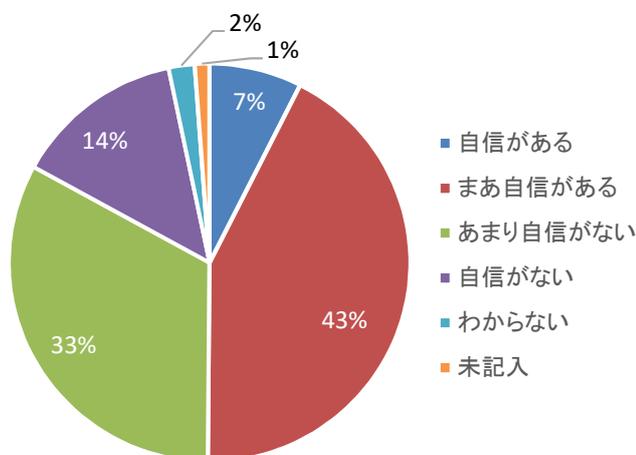
問4 あなたのお住まいお地域はどちらですか。

地域	回答数
1 大町	160
2 平	44
3 常盤	80
4 社	26
5 八坂	19
6 美麻	5
7 未記入	1
計	335

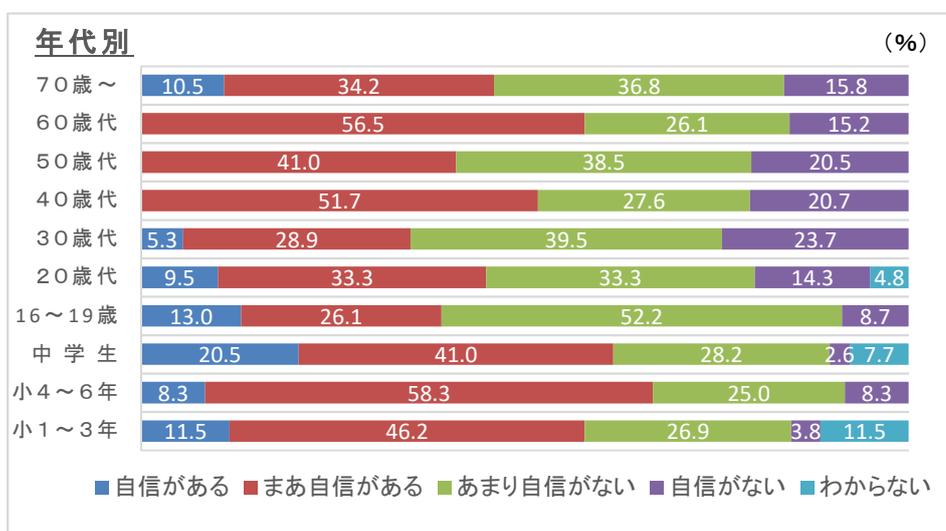


問5 あなた自身の体力についてどう感じていますか。

選 択	回答数
1 自信がある	25
2 まあ自信がある	143
3 あまり自信がない	110
4 自信がない	46
5 わからない	7
6 未記入	4
計	335



- ◆ 約半数の皆さんが、「体力に自信がある」「まあ自信がある」と回答しています。
- ◆ 男女別の集計では、「体力に自信がある」「まあ自信がある」の概ね自信のある人の割合は、男性が55%、女性が47%となっています。

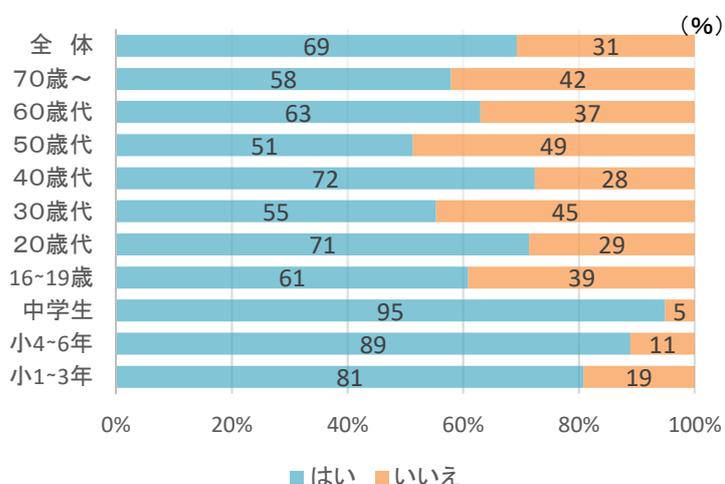


- ◆ 年代別では、青年期から壮年期にかけて、体力に自信のある人が少なくなっています。中学までは、部活動やジュニアクラブ等でスポーツの機会が多くありますが、高校以降は、学業や仕事、子育て等でスポーツの機会が減るものと考えられます。壮年期から高齢期にかけては、仕事や子育てが一段落するとともに、健康ブームもあり運動する機会が増えてきているものと考えられます。

(2) 現在のスポーツ活動状況について

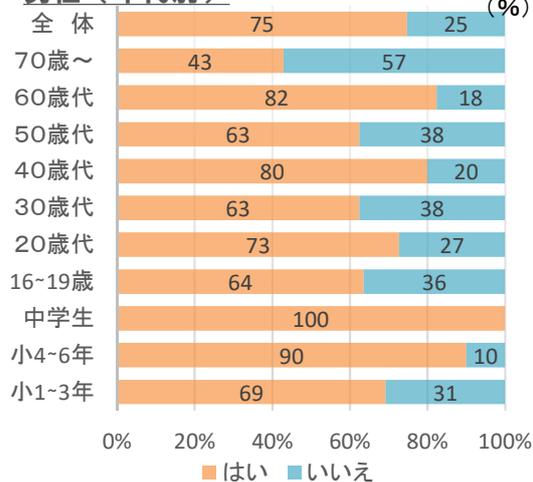
問6 あなたはこの1年間に運動、スポーツを行いましたか。

世代	はい	いいえ
1 小学1-3年生	21	5
2 小学4-6年生	32	4
3 中学生	37	2
4 16~19歳	14	9
5 20歳代	15	6
6 30歳代	21	17
7 40歳代	21	8
8 50歳代	20	19
9 60歳代	29	17
10 70歳以上	22	16
計	232	103

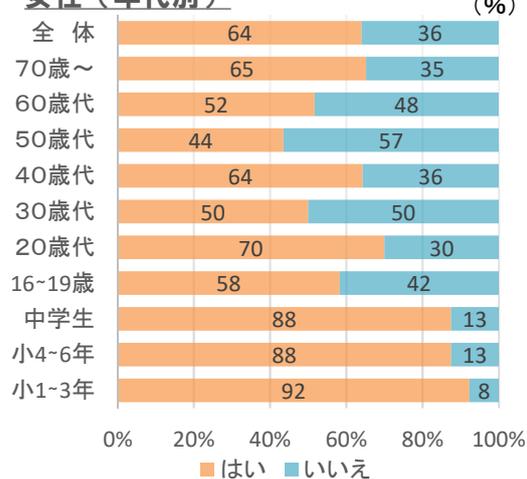


- ◆ 1年間に運動、スポーツを行った人の割合は、69%と前回調査（平成24年度）の61%から8ポイント上がっています。また、成人では、61%の人が運動・スポーツを行っています。

男性（年代別）



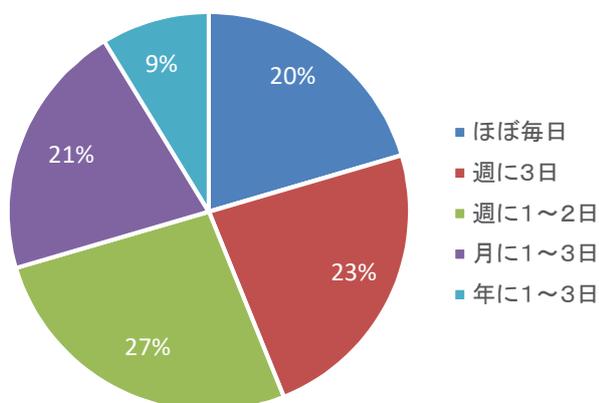
女性（年代別）



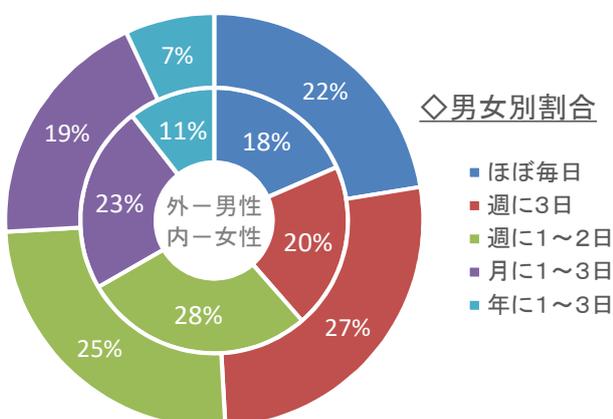
- ◆ 男女別では、男性が75%、女性が65%となっています。
- ◆ 男性では、60歳代の82%に対し、70歳以上が43%と最も低くなっています。年代によりばらつきがありますが、退職等により運動・スポーツに取り組んだものと思われそうですが、70歳頃から減少しています。
- ◆ 女性では、20歳代から50歳代では、仕事や家事等でスポーツができない状態であったものが、60歳代に入り、また、健康、体力づくり等のため運動を始めているものと考えられます。

問6-① どの程度の頻度で運動、スポーツをしていますか。

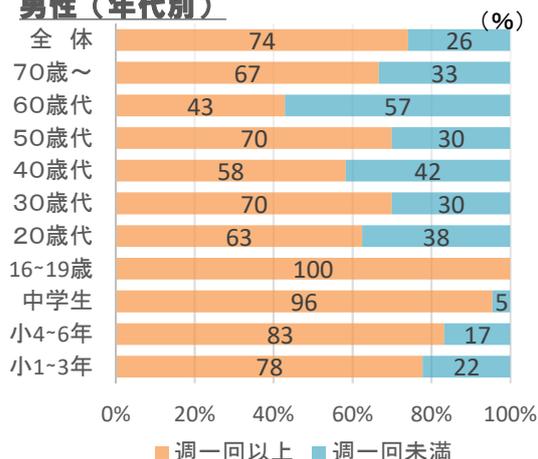
選 択	回答数
1 ほぼ毎日	47
2 週に3日	54
3 週に1~2日	61
4 月に1~3日	48
5 年に1~3日	20



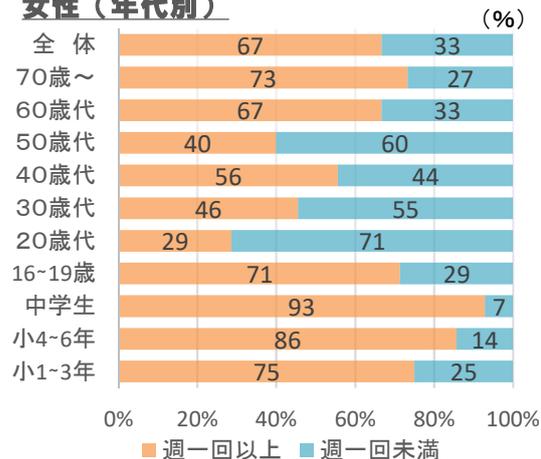
- ◆ 1週間に3回以上スポーツをする人が、全体の43%を占めています。
- ◆ 1週間に1回以上スポーツをする人は、全体の70%と前回調査の56%から14ポイント増加しています。
- ◆ 男女別では、週に3回以上スポーツをする割合が、男性が49%、女性が38%となっています。
- ◆ 男女別では、週に1回以上スポーツをする割合が、男性が74%、女性が66%となっています。



男性（年代別）



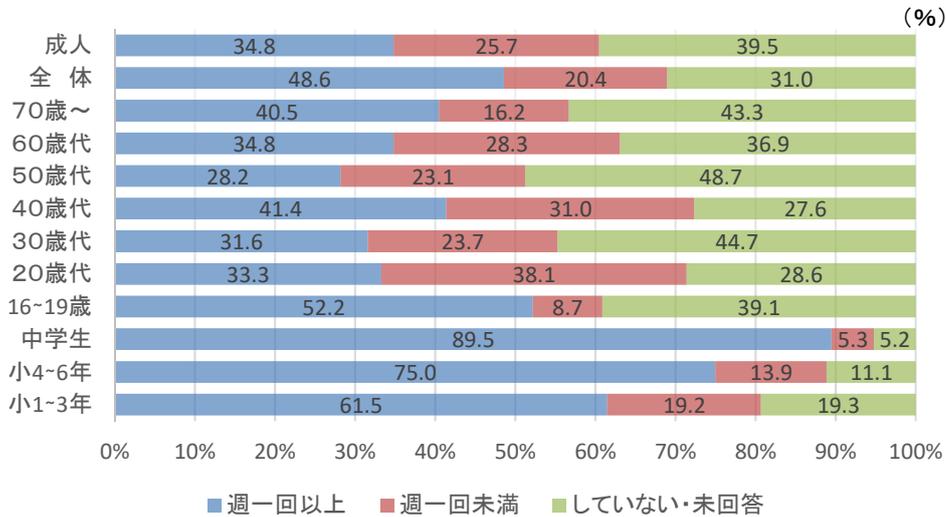
女性（年代別）



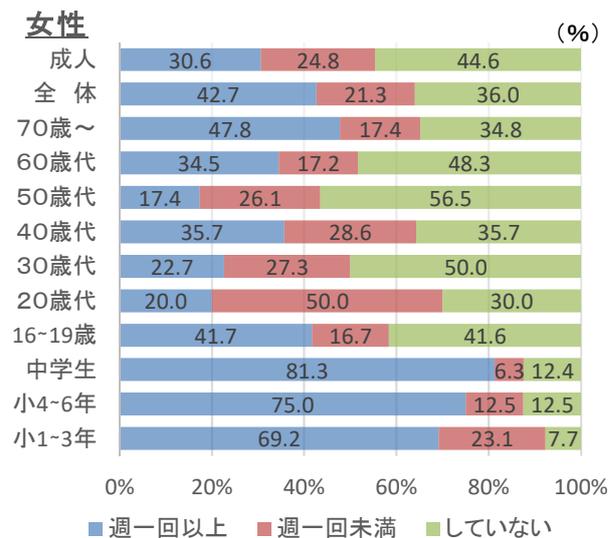
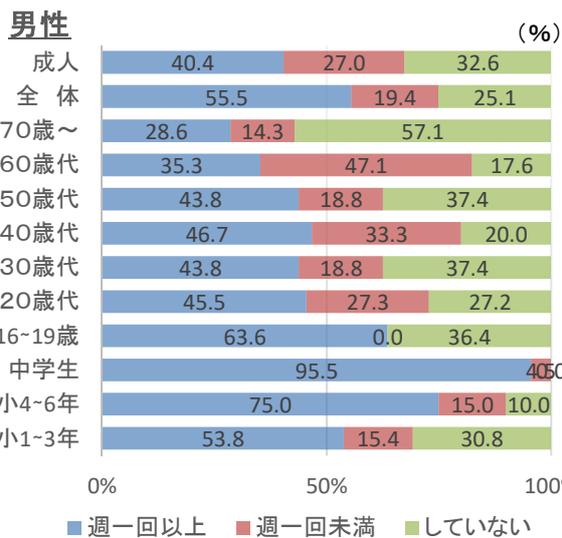
- ◆ 年代別では、男性は女性に比べ、平均して運動・スポーツを行っていますが、20歳以上では総体的にスポーツをする回数が減少しています。
- ◆ 女性は、20歳から50歳代までが総体的に低い状況ですが、年齢とともに増加傾向にあり、健康志向の高まりとともに、運動・スポーツへの取組が増加しています。

運動・スポーツの実施率について

★この1年間の運動・スポーツの実施率 (週1回以上の運動・スポーツの実施率)

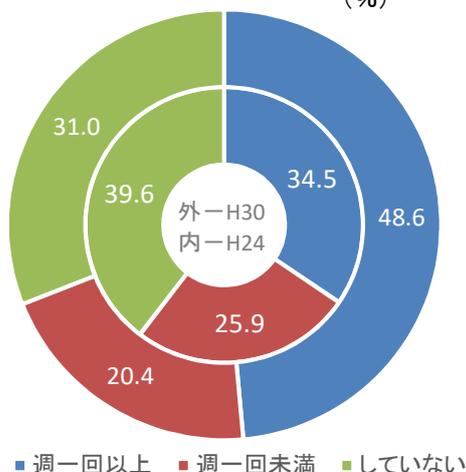


- ◆ 第5次総合計画前期基本計画における数値目標「週1日以上運動・スポーツをする人の割合(65%)」は48.6%と16.4ポイント低い状況ですが、基準値の48.0%からは若干増加しています。
- ◆ 国及び長野県の目標としている成人のスポーツ実施率では、国が51.5%(H29)、県が49.3%(H28)となっているのに対し、34.8%と低い状況となっています。運動・スポーツのとらえ方の違いもあると思いますが、運動をしない、あまりしない人の割合が多い状況であり、運動・スポーツの習慣化を図っていく必要があります。

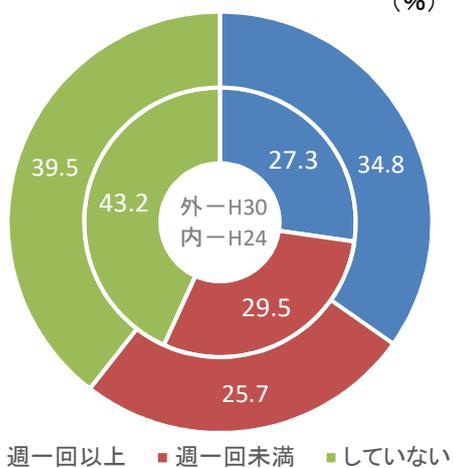


- ◆ 男女別では、男性が55.5%、女性が42.7%と女性の割合が低くなっています。女性の場合、男性に比べると、仕事に加え家事や子育て等により、スポーツの時間が取れない場合が多いと考えられ、少ない時間の中でも効果的な運動ができる環境をつくるなど、検討が必要です。

◇前回調査との比較
(%)



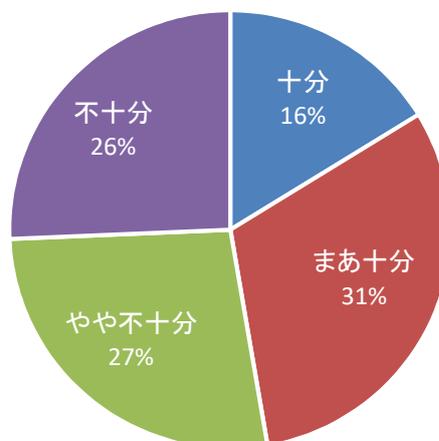
◇前回調査との比較(成人)
(%)



- ◆ 前回（平成24年度）調査との比較では、1週間に1回以上運動・スポーツをする人の割合は、34.5%から48.6%と14.1ポイント増加しています。また、成人の場合の比較では、27.3%から34.8%と7.5ポイント増加しています。
- ◆ どちらも運動・スポーツを全くしない人の割合が多いため、気軽に取り組めるニュースポーツの導入やスポーツを通じた健康づくりなど、多くの人に関心を持ってもらえる教室の開催などの取組が必要です。
- ◆ また、気軽に参加できるイベント等も開催していますが、情報が広く市民に伝わっていない状況にあります。「する」スポーツだけでなく「見る」、「支える」スポーツも生涯スポーツの推進に重要な要素であり、スポーツ関連の情報提供を充実させていく必要があります。

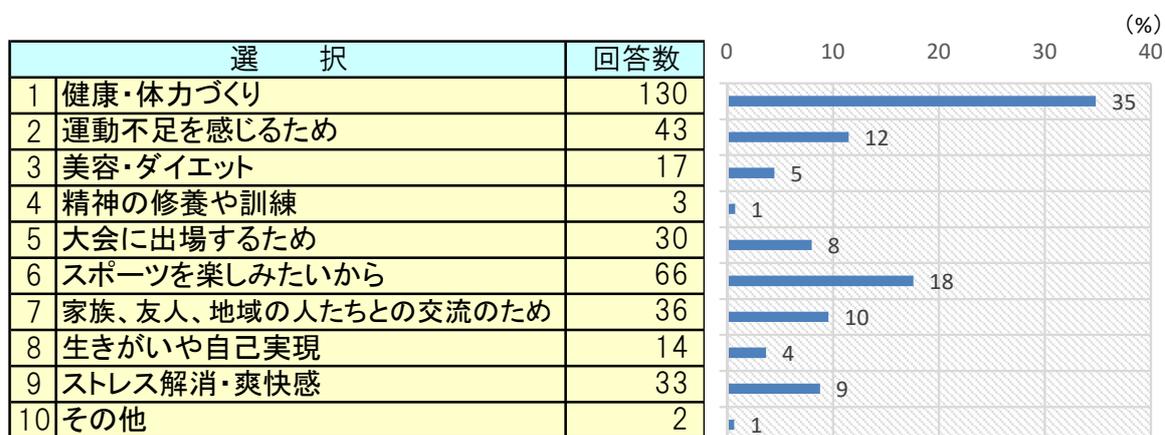
問6-② あなたの生活の中で、運動・スポーツに費やす時間は十分とお考えですか。

選 択	回答数
1 十分	36
2 まあ十分	69
3 やや不十分	60
4 不十分	57



- ◆ 半数近い47%の皆さんが、スポーツに費やす時間が「十分」「まあ十分」と回答しています。前回調査の34%から13ポイント増加しています。
- ◆ 年代では、20歳代から50歳代にかけて、仕事や家事、子育て等により、スポーツをする時間が取れない状況と考えられます。

問6-③ あなたが運動・スポーツを行う目的は何ですか。



- ◆ 運動・スポーツを行う目的で一番多いのが、「健康・体力づくり」で35%、次に「スポーツを楽しみたいから」が18%、「運動不足を感じるため」が12%と続いています。
- ◆ 男女別では、男性が「健康・体力づくり」で32%、「スポーツを楽しみたいから」が23%、「大会に出場するため」が11%と続いています。野球やバレーボール、サッカーなど学生時代から継続しているスポーツや、ソフトボールなど壮年期以降に始められるスポーツがあるためと考えられます。
- ◆ 女性は「健康・体力づくり」が38%、「運動不足を感じるため」が15%、「スポーツを楽しみたいから」が13%と続いています。

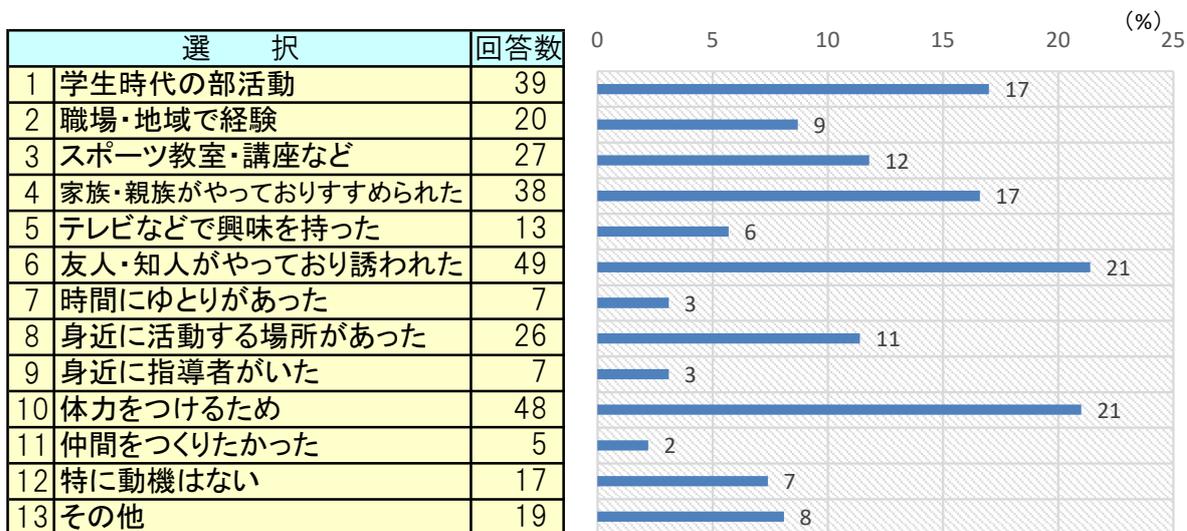
問6-④ この1年間にどんな運動・スポーツをしましたか。(複数回答可)

	競技	回答数
1	硬式野球	3
2	軟式野球	16
3	ソフトボール	21
4	サッカー	30
5	フットサル	10
6	ラグビー	1
7	バスケットボール	28
8	バレーボール	28
9	ソフトバレーボール	19
10	硬式テニス	6
11	軟式テニス	10
12	バドミントン	39
13	ゴルフ	12
14	グラウンドゴルフ	3
15	マレットゴルフ	14
16	ゲートボール	0
17	卓球	26
18	ドッチボール	19
19	ボウリング	25
20	陸上競技(フィールド)	7
21	陸上競技(トラック)	24
22	マラソン	38
23	トライアスロン	0
24	ウォーキング	48
25	ジョギング	36

	競技	回答数
26	登山	27
27	トレッキング	20
28	剣道	5
29	柔道	4
30	合気道	0
31	空手道	1
32	なぎなた	1
33	弓道	0
34	太極拳	2
35	テコンドー	1
36	スキー	52
37	スノーボード	23
38	フィギュアスケート	1
39	スピードスケート	6
40	水泳	58
41	カヌー	6
42	ボート	2
43	ダンス	20
44	エアロビクス	1
45	ヨガ	15
46	縄跳び	38
47	乗馬	0
48	その他	36

- *その他
- ・体操、器械体操等
 - ・スラックライン
 - ・ボルダリング
 - ・バランスボール
 - ・ワンバウンドふらばーるバレー
 - ・ミニテニス
 - ほか

問6-⑤ 前問の運動・スポーツを始めた動機は何ですか。(複数回答可)



*その他 ・学校の授業
 ・好きだったから
 ・医師、保健師さんの勧め ほか

◆ スポーツを始めた動機で一番多いのが「友人・知人がやっております誘われた」ため21%、次に「体力をつけるため」、「学生時代の部活動」などが続いています。スポーツを始めるきっかけは、学生時代にやっていた競技や、友人の影響など、身近な環境によるところが多いと考えられます。

問6-⑥ クラブ・サークルなどのスポーツ団体に所属していますか。(複数回答可)



*その他 ・ジムネット
 ・スイミング ほか

◆ クラブ・サークル等の所属状況は、最も多いのが「個人・その他」の75人で、全体の40%を占めています。ただし、複数回答のため、所属するクラブ・サークル等がある場合でも、個人で行っているスポーツがある場合、両方に記載されています。このことは、趣味等の多様化と他の人の干渉を受けずに個人的に楽しみたいという傾向の表れといえます。

問6-⑦ あなたが運動・スポーツを行わない主な理由は何ですか。（複数回答可）



*その他 ・低学年の受け入れがない

- ◆ 運動・スポーツを行わない理由で最も多いのが「家事や仕事が忙しくて時間がないから」で41人で21%、次いで「運動が好きではないから」の20人の10%となっています。近年、子どものころから運動をしない人が増えており、それに伴い、体力やコミュニケーション能力等の低下も懸念されるため、スポーツ習慣をつける必要があります。

(3) 今後の運動・スポーツ活動について

問7 今後、どのような条件が整えば運動、スポーツをする時間が増えると思いますか。

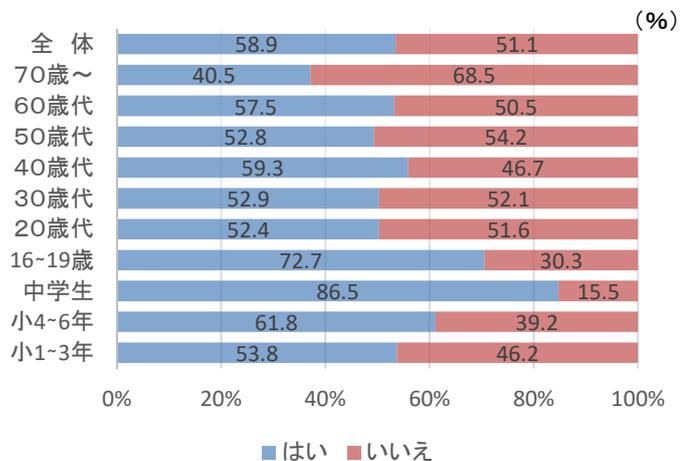


- ◆ 運動・スポーツをする時間が増える条件では、「時間に余裕ができれば」が38%と最も回答が多く、次に「身近に運動する場所があれば」「自分がやりたい種目等あれば」「仲間がいたら」と続いており、きっかけがあれば運動・スポーツをしたり、時間が増えると思われます。

(4) 市が行うスポーツイベント(運動会、球技大会など)・教室について

問8 これまで市内で開催されたスポーツイベント・教室に参加したことがありますか。

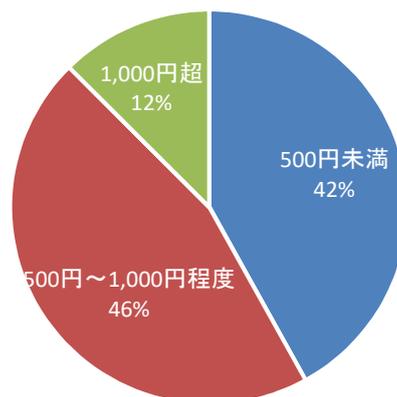
世代	はい	いいえ
1 小学1-3年生	21	5
2 小学4-6年生	32	4
3 中学生	37	2
4 16~19歳	14	9
5 20歳代	15	6
6 30歳代	21	17
7 40歳代	21	8
8 50歳代	20	19
9 60歳代	29	17
10 70歳以上	22	16
計	232	103



- ◆ これまでにスポーツイベント・教室に参加したことがある人は、58.9%と前回調査の56.2%から2.7ポイント上がっています。
- ◆ 年代別では、中学生が86.5%と最も高く、70歳以上が40.5%と最も低くなっています。

問9 市が行うスポーツイベントや教室の参加のため、1回(1日)にあなたはどのくらいの参加費(保険料含む)であれば参加しますか。

選択	回答数
1 500円未満	128
2 500円~1,000円程度	139
3 1,000円超	38

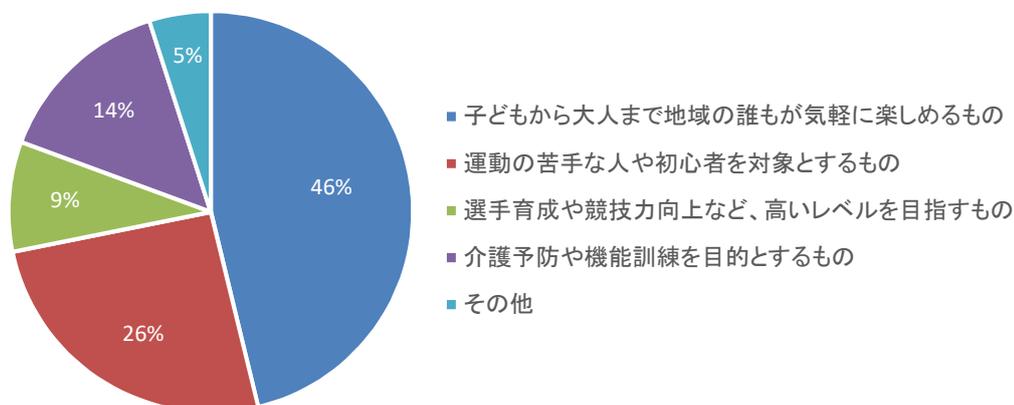


- ◆ スポーツイベントや教室の参加費用については、500円未満が42%、500円から1,000円程度が46%と、併せて88%となっています。教育委員会が行う教室等では、保険料と必要な経費分で参加料としていますが、大勢の皆さんに参加してもらうためには、さらに工夫が必要と考えられます。

問10 どのようなスポーツイベント・教室を望みますか。

選 択		回答数
1	子どもから大人まで地域の誰もが気軽に楽しめるもの	141
2	運動の苦手な人や初心者を対象とするもの	78
3	選手育成や競技力向上など、高いレベルを目指すもの	27
4	介護予防や機能訓練を目的とするもの	44
5	その他	15

- *その他
- ・乳幼児対象の教室
 - ・年代や性別を問わずに交流できるもの
 - ・施設の開放を兼ねた教室等
 - ・費用の負担が少ない、楽しい、近い
 - ・体力づくり ほか

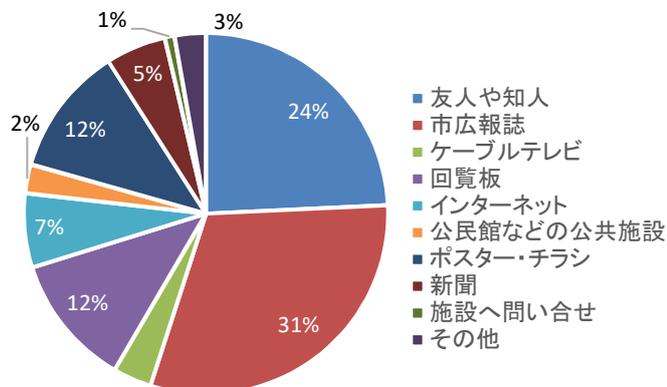


- ◆ 希望するイベント・教室については、「子どもから大人まで地域の誰もが気軽に楽しめるもの」が46%、次いで「運動の苦手な人や初心者を対象とするもの」が、26%となっています。運動のできない人など、誰でも気軽に参加できるイベント等を開催することが、スポーツのきっかけづくりになるものと考えられます。

(5) スポーツに関する情報について

問11 あなたは普段、市内のスポーツに関する情報は主にどこから得ることが多いですか。

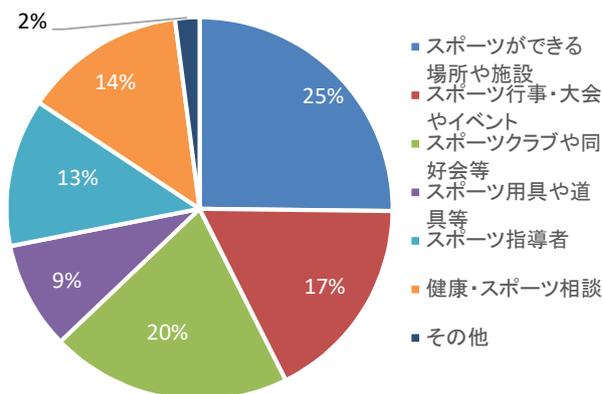
選 択	回答数
1 友人や知人	113
2 市広報誌	143
3 ケーブルテレビ	16
4 回覧板	55
5 インターネット	31
6 公民館などの公共施設	12
7 ポスター・チラシ	54
8 新聞	25
9 施設へ問い合わせ	4
10 その他	13



- ◆ スポーツに関する情報の入手方法については、「市広報誌」が31%と最も多く、次いで「友人や知人」からが24%となっています。
- ◆ 若い世代は「友人や知人」からの情報が多く、高齢な世代になるほど「市広報誌」からの情報が多くなっており、複数の媒体による情報発信が必要です。
- ◆ また、「インターネット」からの情報については、7%と前回の5%からあまり伸びていない状況であり、より見やすいホームページにしていく必要があります。

問12 市内のスポーツに関する情報で不足していると思われるものは何ですか。

記述回答	回答数
1 スポーツができる場所や施設	111
2 スポーツ行事・大会やイベント	77
3 スポーツクラブや同好会等	89
4 スポーツ用具や道具等	40
5 スポーツ指導者	55
6 健康・スポーツ相談	60
7 その他	9

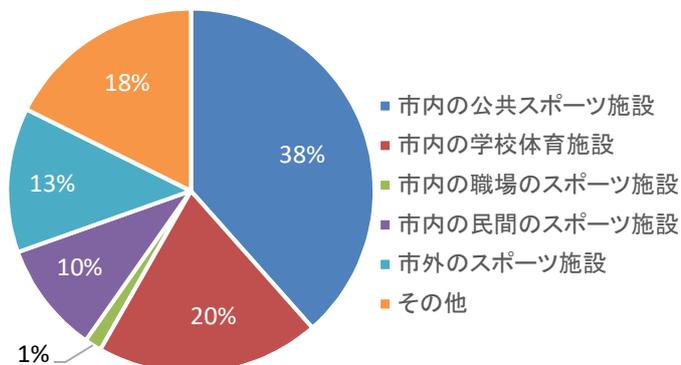


- ◆ スポーツに関する情報について、「スポーツができる場所や施設」が25%、「スポーツクラブや同好会等」20%、「スポーツ行事・大会やイベント」17%などが不足しているという状況です。スポーツ施設については新たな情報はありませんが、スポーツクラブ等の情報については、スポーツのきっかけづくりにもなるため、積極的な情報発信が必要です。

(6) スポーツ施設について

問13 あなたがよく利用するスポーツ施設は、次のうちどれですか。

選 択	回答数
1 市内の公共スポーツ施設	129
2 市内の学校体育施設	66
3 市内の職場のスポーツ施設	5
4 市内の民間のスポーツ施設	33
5 市外のスポーツ施設	43
6 その他	59



- ◆ 利用するスポーツ施設では、「市内の公共スポーツ施設」が最も多く、次に「市内の学校体育施設」となっています。市内には、民間のスポーツ施設が少ないため、公共スポーツ施設の充実が必要です。

問14 この1年間に大町市の公共スポーツ施設（学校の体育館を含む）を利用したことがありますか。（一番多く利用した施設を記入してください）

①どの施設を利用しましたか。

選 択	回答数
1 総合体育館	35
2 陸上競技場	5
3 野球場	1
4 サッカー場	1
5 テニスコート	6
6 屋内運動場	6
7 多目的グラウンド	1
8 マレットゴルフ場	3
9 弓道場	0
10 平運動場	1
11 平野球場	0
12 B&G体育館	5
13 B&G艇庫	1
14 西公園体育館	6
15 西公園グラウンド	2

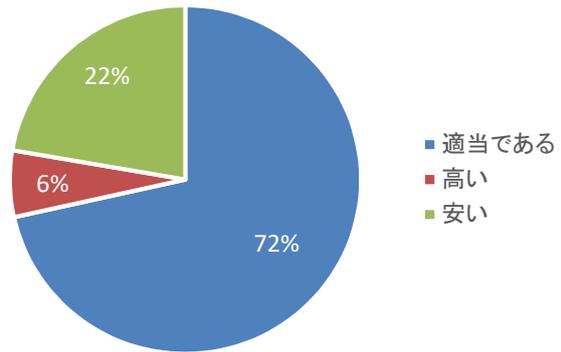
選 択	回答数
16 B&G多目的広場	2
17 常盤運動場	1
18 社公園運動広場	2
19 八坂トレセン	2
20 八坂屋内ゲートボール場	0
21 美麻トレセン	0
22 美麻屋内ゲートボール場	0
23 小学校グラウンド	1
24 小学校体育館	19
25 中学校体育館	12
26 高校体育館	0
27 公民館	4
28 その他	12

*その他 ・文化会館
 ・山岳総合センター
 ・ゆーぶる木崎湖
 ・支所、地区の集会所 ほか

- ◆ 市の公共スポーツ施設では、「総合体育館」が最も多く利用されており、「小学校体育館」、「中学校体育館」と続いています。
- ◆ 公民館や地区の集会所等も利用されており、身近な地域での健康づくり、体力づくりには身近な公民館等が使いやすいと考えられます。

②利用した施設の使用料金についてどう思われますか。

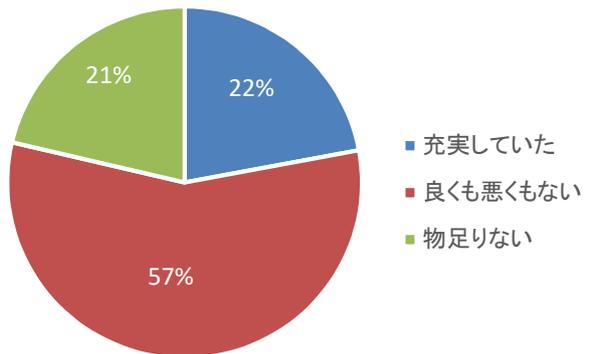
選 択		回答数
1	適当である	93
2	高い	8
3	安い	29



- ◆ 市のスポーツ施設については、市民については使用料が減免となり、照明料のみの場合が多く、料金については安いと感じる人が多いと思われます。

③利用した施設の設備についてどう思われますか。

選 択		回答数
1	充実していた	30
2	良くも悪くもない	77
3	物足りない	29

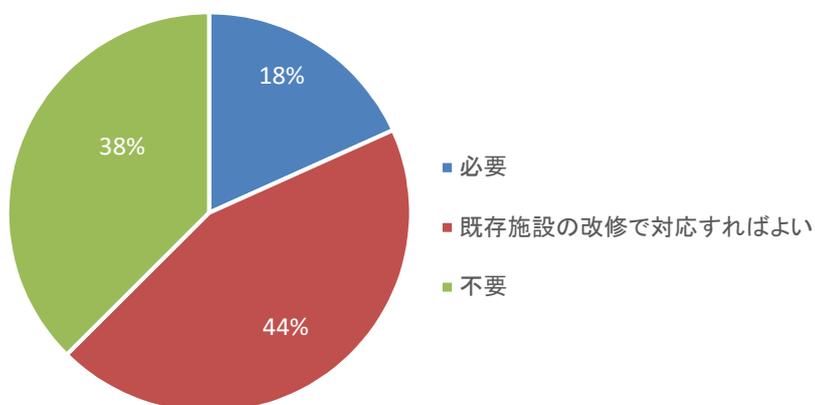


- ◆ 施設の設備については、「良くも悪くもない」が57%と最も多くなっていますが、多くの施設が老朽化しており、適正な維持管理が必要です。

問15 今後、新しい公共スポーツ施設が必要と思いますか。

選 択		回答数
1	必要（数が足りない）	52
2	既存施設の改修で対応すればよい（施設が古い など）	126
3	不要（十分足りていると思う）	107

- *その他
- ・スケートボード
 - ・クライミング施設
 - ・スラックライン
 - ・室内練習場
 - ・スポーツジム
 - ・屋外のバスケットコート
 - ・武道館 ほか

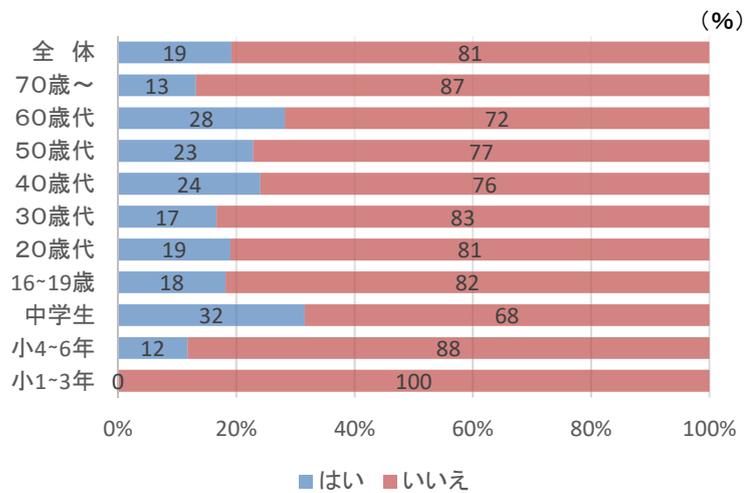


- ◆ 新たな公共スポーツ施設の必要性については、44%の人が「既存施設の改修で対応すればよい」、38%の人が「不要」と回答しています。
- ◆ 現在の施設を整備等により設備環境の充実を図るとともに、スケートボードやクライミングなど新しい競技施設についての要望も出てきているため、今後検討が必要です。

(7) スポーツに関するボランティア活動について

問16 あなたはスポーツに関わるボランティア活動（大会運営協力、スポーツ指導等）を行ったことがありますか。

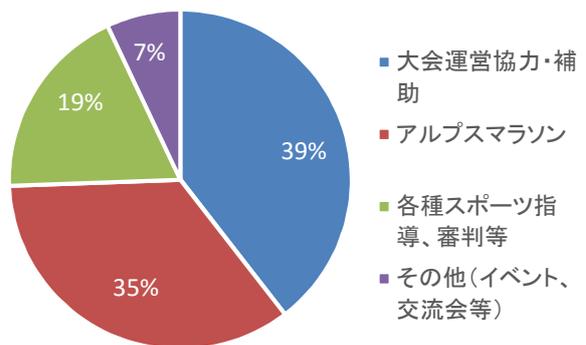
世代	ある	ない
1 小学1-3年生	0	26
2 小学4-6年生	4	30
3 中学生	12	26
4 16～19歳	4	18
5 20歳代	4	17
6 30歳代	6	30
7 40歳代	7	22
8 50歳代	8	27
9 60歳代	11	28
10 70歳以上	5	33
計	61	257



- ◆ スポーツに関わるボランティア活動を行ったことのある人の割合は、19%と前回調査の15%から4ポイント上がっています。
- ◆ 年代別では、40歳代から60歳代が比較的多い状況で、アルプスマラソン等のボランティアも高齢化しており、スポーツボランティアの育成等も必要です。

問16-① それはどのような活動ですか。

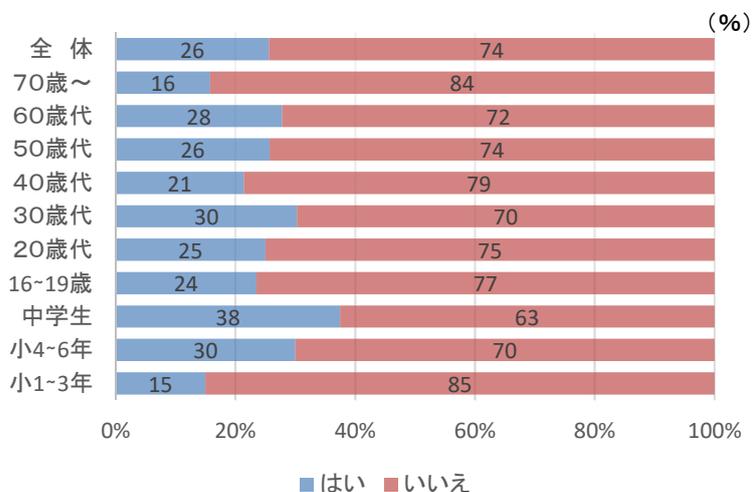
記述回答	回答数
1 大会運営協力・補助	17
2 アルプスマラソン	15
3 各種スポーツ指導、審判等	8
4 その他(イベント、交流会等)	3



- ◆ アルプスマラソンも含め、大会運営の協力や補助と回答した人が、全体の74%を占めています。

問17 あなたはスポーツに関わるボランティア活動（大会運営協力、スポーツ指導等）を行いたいと思いますか。

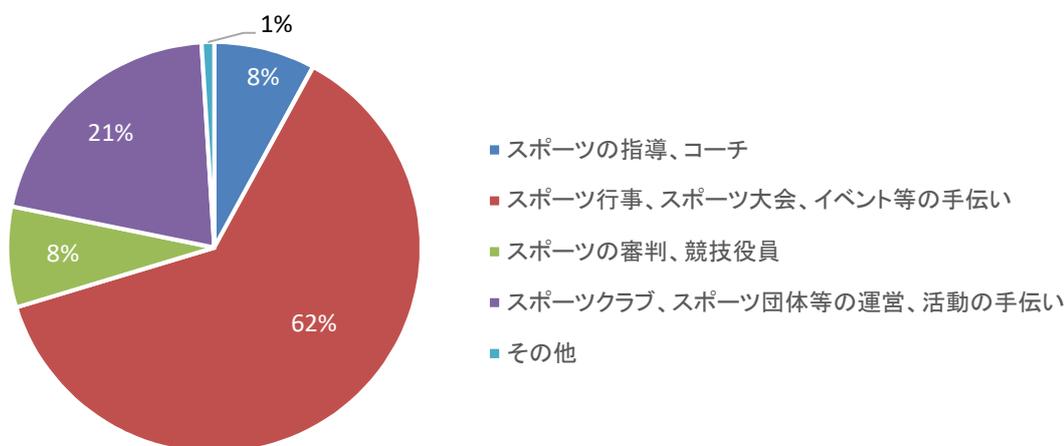
世代	はい	いいえ
1 小学1-3年生	3	17
2 小学4-6年生	9	21
3 中学生	12	20
4 16～19歳	4	13
5 20歳代	5	15
6 30歳代	10	23
7 40歳代	6	22
8 50歳代	9	26
9 60歳代	10	26
10 70歳以上	6	32
計	74	215



◆ 26%の人が、ボランティア活動を行いたいと回答しましたが、今後、更にボランティアが必要になると考えられ、「支える」スポーツとしての取組が必要です。

問17-① それはどのような活動ですか。

選択	回答数
1 スポーツの指導、コーチ	8
2 スポーツ行事、スポーツ大会、イベント等の手伝い	63
3 スポーツの審判、競技役員	8
4 スポーツクラブ、スポーツ団体等の運営、活動の手伝い	21
5 その他	1

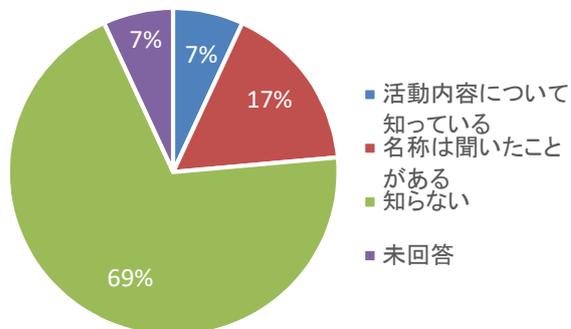


◆ 全体の62%の人が、スポーツ行事や大会、イベント等の手伝いと回答しています。

(8) 総合型地域スポーツクラブについて

問18 総合型地域スポーツクラブを知っていますか。

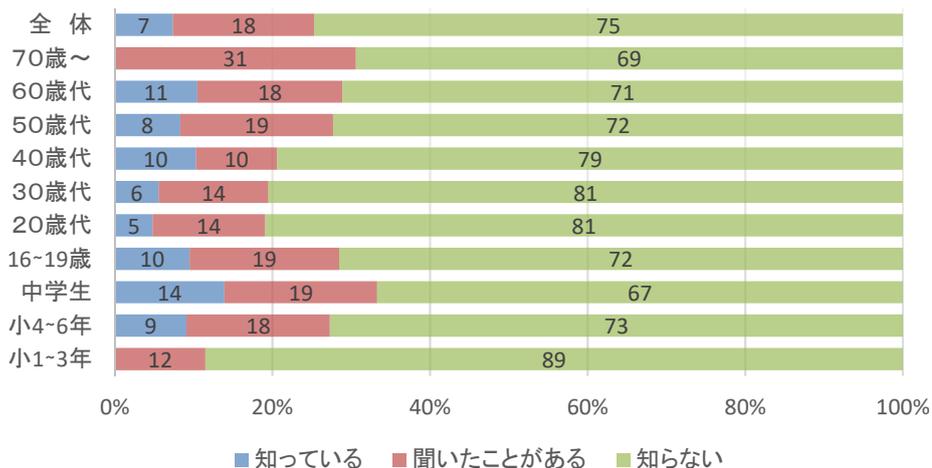
選 択	回答数
1 活動内容について知っている	23
2 名称は聞いたことがある	56
3 知らない	233
4 未回答	23



*総合型地域スポーツクラブとは、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブをいいます。

- 大町市の総合型地域スポーツクラブ
 - ・大町スポーツクラブ
 - ・NPO法人ジムナスティック・ネットワーク

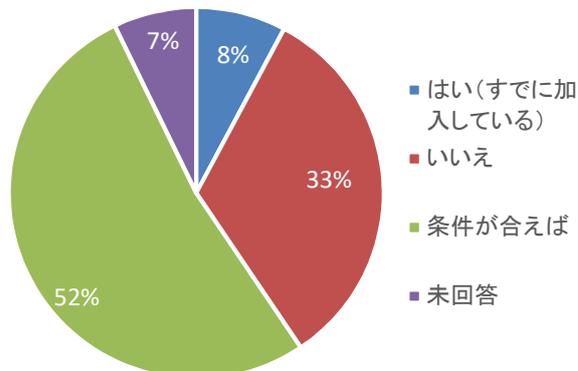
(%)



- ◆ 総合型地域スポーツクラブを知っていると答えた人は、全体の7%でした。今後、地域スポーツの活動拠点として、スポーツ振興の重要な役割が期待されており、認知度を高めていく必要があります。
- ◆ 全世代に渡り、認知度が低い状況ですが、男女別では、男性が11%、女性が5%と、特に女性のほうが低い状況です。

問19 身近に総合型地域スポーツクラブがあれば加入したいですか。

選 択	回答数
1 はい（すでに加入している）	26
2 いいえ	110
3 条件が合えば	175
4 未回答	24

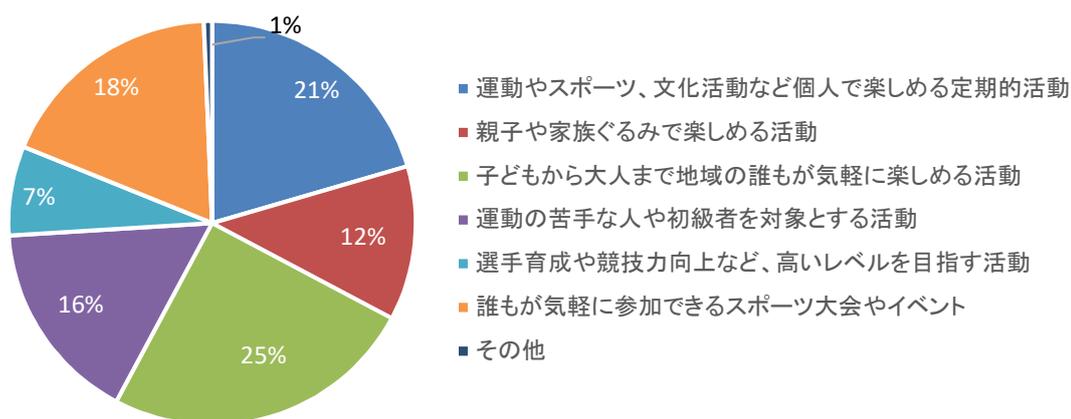


- ◆ 総合型地域スポーツクラブを知っている人の割合は7%という結果ですが、「加入したい」「条件が合えば加入したい」人は、全体の60%になりますので、認知度を上げ、活動内容等を理解してもらうなど、広報活動の充実が必要です。

【問19で「はい」または「条件があえば」とお答えの方に伺います】

問19-① 主にどのような活動に参加してみたいですか。

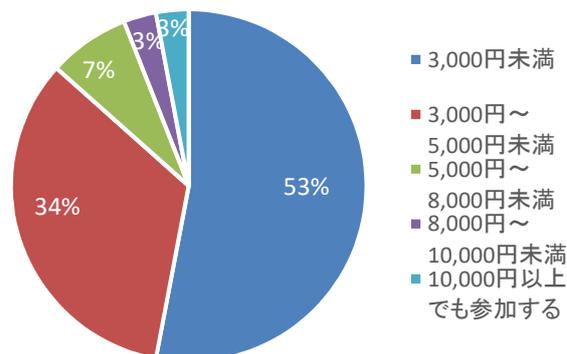
選 択	回答数
1 運動やスポーツ、文化活動など個人で楽しめる定期的活動	63
2 親子や家族ぐるみで楽しめる活動	38
3 子どもから大人まで地域の誰もが気軽に楽しめる活動	77
4 運動の苦手な人や初級者を対象とする活動	50
5 選手育成や競技力向上など、高いレベルを目指す活動	22
6 誰もが気軽に参加できるスポーツ大会やイベント	56
7 その他	2



- ◆ 総合型地域スポーツクラブで参加したい活動は、「子どもから大人まで地域の誰もが気軽に楽しめる活動」が25%、「運動やスポーツ、文化活動など個人で楽しめる定期的活動」が21%となっています。クラブの広報活動とともに、地域の誰もが気軽に参加しやすく、また、単一の活動のみでなく様々な活動ができるよう整備が必要です。

問19-② 年会費はどのくらいであれば参加できますか。

	選 択	回答数
1	3,000円未満	107
2	3,000円～5,000円未満	68
3	5,000円～8,000円未満	15
4	8,000円～10,000円未満	6
5	10,000円以上でも参加する	6



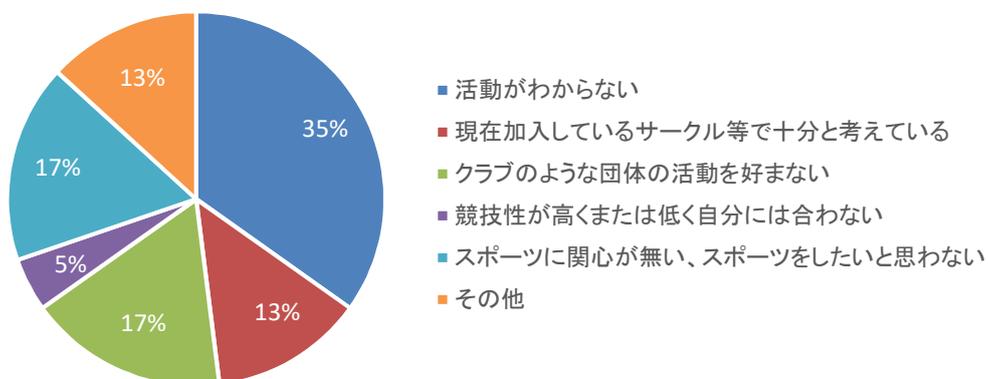
◆ 総合型地域スポーツクラブを知っている人の割合は8%という結果ですが、「加入したい」「条件が合えば加入したい」人は、全体の60%となっています。

【問19で「いいえ」とお答えの方に伺います】

問19-③ 総合型地域スポーツクラブに加入（参加）したくない（しない）理由は何ですか。

	選 択	回答数
1	活動がわからない	53
2	現在加入しているサークル等で十分と考えている	20
3	クラブのような団体の活動を好まない	26
4	競技性が高くまたは低く自分には合わない	7
5	スポーツに関心が無い、スポーツをしたいと思わない	26
6	その他	20

* その他 ・知らない人との交流は苦手だから
 ・入ってもなかなか参加しない
 ・身体的についていけない
 ・自分のペースでやりたいことをやりたいときにしたい ほか

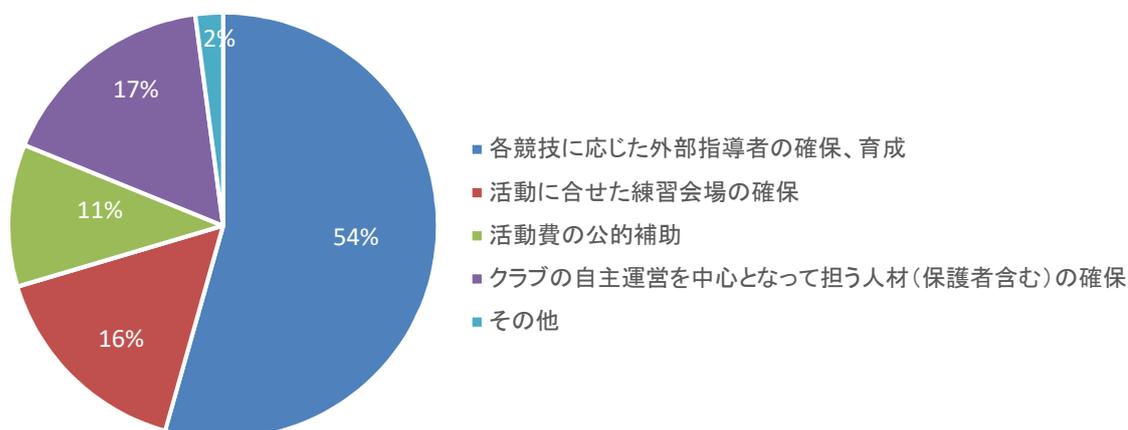


◆ 総合型地域スポーツクラブに加入したくないと答えた人のうち、35%の人が「活動がわからない」と答えています。活動内容を充実し、理解してもらうことで、更に参加する人が増えるものと思われます。

問20 中学校での部活動の社会体育化（クラブ化）を進めていますが、部活動を社会体育として実施するためには何が必要と考えますか。

選 択	回答数
1 各競技に応じた外部指導者の確保、育成	156
2 活動に合せた練習会場の確保	46
3 活動費の公的補助	31
4 クラブの自主運営を中心となって担う人材(保護者含む)の確保	48
5 その他	6

- *その他
- ・保護者の負担が増えるため、対策が必要です。
 - ・社会体育化に向けて保護者の理解と協働が必要と考える。
 - ・教育として部活動をすべき
 - ・部活指導者と子供たちと部活担当教員の3者の良い関係
 - ・学校と外部指導者との信頼関係
 - ・顧問が部活動を外部に任せようと思うか

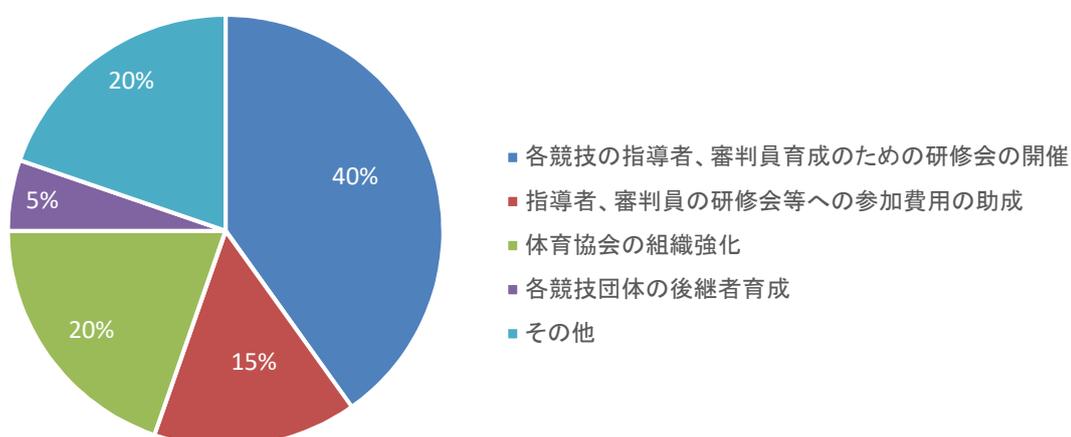


- ◆ 中学校の部活動の社会体育化（スポーツクラブ化）では、54%の人が「各競技に応じた外部指導者の確保、育成」が必要と答えています。
- ◆ 現在、一中と仁中は部活動のスポーツクラブ化を進めていますが、外部指導者の確保が課題であり、バレーボールや陸上競技など可能なところから始めていますが、受け入れる総合型地域スポーツクラブの整備が急務です。今後の総合型クラブの見直し、整備等において、中学校期のスポーツ活動についても検討していく必要があります。

問21 スポーツ振興のための人材育成について何が必要と考えますか。

	選 択	回答数
1	各競技の指導者、審判員育成のための研修会の開催	53
2	指導者、審判員の研修会等への参加費用の助成	20
3	体育協会の組織強化	26
4	各競技団体の後継者育成	7
5	その他	26

- *その他
- ・市を挙げての事業として、費用施設を含めて本気で取り組む覚悟と企画力
 - ・熱意と各団体の連携
 - ・興味をもてる活動、初心者、底辺人口の拡大
 - ・指導者の資質向上
 - ・指導者の人間性
 - ・人口増加

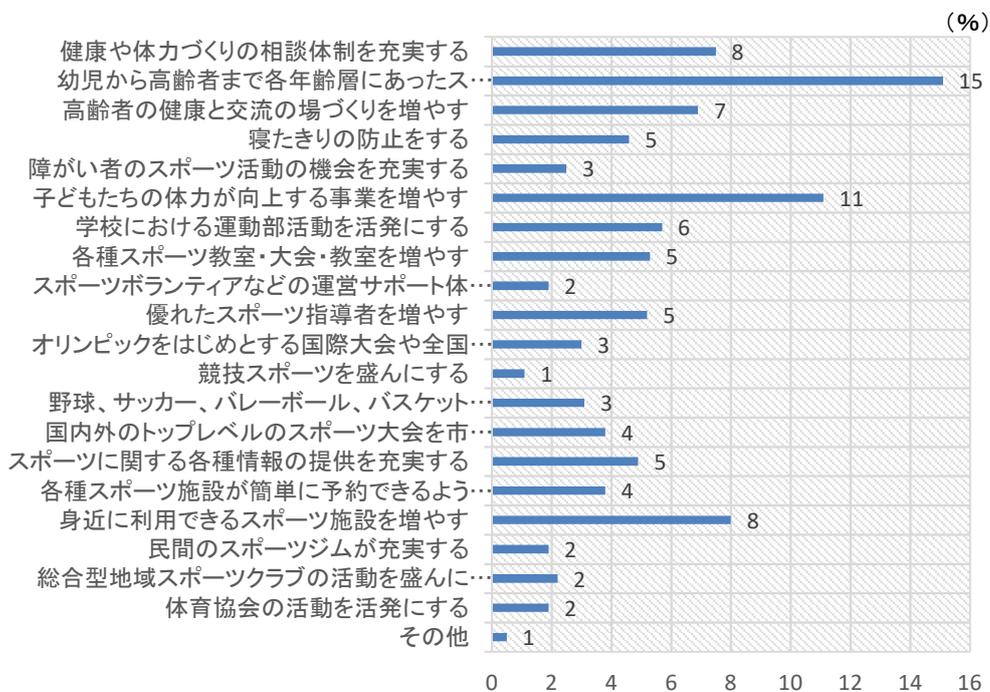


- ◆ スポーツ振興のための人材育成については、「各競技の指導者、審判員育成のための研修会の開催」が40%、「体育協会の組織強化」が20%となっています。
- ◆ 今後のスポーツ振興については、競技スポーツだけでなく、健康増進や体力づくりにおいても、指導者や審判員の育成や資質の向上など、技術力を上げていく必要があります。各スポーツ団体においては、高齢化等により組織の体力が低下していますが、体育協会を中心に組織の育成、強化を図り、指導者の確保と資質の向上を図っていくことが必要です。

(9) スポーツ施策全般について

問22 大町市のスポーツを推進するためにあなたはどのようなことが必要だと思いますか。

選 択	回答数
1 健康や体力づくりの相談体制を充実する	61
2 幼児から高齢者まで各年齢層にあったスポーツ活動の機会を増やす	122
3 高齢者の健康と交流の場づくりを増やす	56
4 寝たきりの防止をする	37
5 障がい者のスポーツ活動の機会を充実する	20
6 子どもたちの体力が向上する事業を増やす	90
7 学校における運動部活動を活発にする	46
8 各種スポーツ教室・大会・教室を増やす	43
9 スポーツボランティアなどの運営サポート体制を整備する	15
10 優れたスポーツ指導者を増やす	42
11 オリンピックをはじめとする国際大会や全国大会などで活躍する選手を育てる	24
12 競技スポーツを盛んにする	9
13 野球、サッカー、バレーボール、バスケットボールなどのプロチーム活動を誘致	25
14 国内外のトップレベルのスポーツ大会を市内で開催する	31
15 スポーツに関する各種情報の提供を充実する	40
16 各種スポーツ施設が簡単に予約できるようにする	31
17 身近に利用できるスポーツ施設を増やす	65
18 民間のスポーツジムが充実する	15
19 総合型地域スポーツクラブの活動を盛んにする	18
20 体育協会の活動を活発にする	15
21 その他	5



◆ 大町市のスポーツを推進するためには、「幼児から高齢者まで各年齢層にあったスポーツ活動の機会を増やす」が最も多く回答がありました。市民の皆さんが、生涯にわたりスポーツに取り組める環境の整備が重要です。

問23 その他、当市のスポーツ推進に対するご意見・ご要望等ございましたら自由にお書きください。

年代	性別	回 答
小1~3	男性	各スポーツイベントの情報周知があまい。広報誌、インターネット、ホームページをもっと有効活用し、広く情報開示するべき。
		スポーツ活動がどんなものがあるのか情報がもっとあればうれしい。
	女性	ママ世代が気軽に使えるフィットネスがあればいい。
		小1でも入れるスポーツクラブを増やしてほしい。
		スキーシーズン券の補助をお願いします。
小4~6	男性	部活動（文科系の活動も）で使用できる場所を増やしてほしいです。
		芝生のサッカー練習場がほしい。
		保育園のうちから親子で参加して楽しめるスポーツイベントを開催してほしい。
		皆が（子も親も）スポーツが好きという前提で始めている事業が多い気がします。苦手な人にも楽しめるようなイベントがあったらいいと思います
		MTBの無料パークを作ってください
		白馬のスキー場年間パスポート購入時、大町市民も安くしてください。せめて子供だけでも。
		B&Gの柔道の畳を、柔らかくしてください。
	女性	色々な場所で同じようなスポーツ教室をやっているが、市内の活動を一本化できれば広く広がるのではないかと。
		スポーツクラブの練習時間・曜日等を定期的に各学校に発信してもらいたい。
		スポーツに少しでも興味のある子には気軽に体験できる環境が必要。
		社会体育化した場合、今よりもスポーツ活動が過熱化するのではないかと心配である。
		土日両方の練習、遠方への遠征、スポーツ用品の高額化など、社会体育（スポーツ全体）への参加か負担にならないよう導入するべき。
		中学生
屋外バスケットコート		
運動公園オムニ（全天候）コート増設		
室内練習場		
室内アスレチック、パルクール		
中学校の社会体育があると仕事（フル）の休暇をとらなければいけなくなり、生活ができなくなる。先生方の負担もわかります。指導者もないのもわかります。子供がいることにより、仕事の制限がされるのであれば、親の意見として、子どものいない家庭が生活しやすいと思えてしまいます。		
冬場のテニスコート、体育館の確保に、大変苦勞しています。		
プールや温泉施設を利用したスポーツ施設		
女性	どんな活動をしているのかなど、スポーツをやっている人の声を市民に届ける。	
学校体育施設の清掃用具が、どこも古く壊れていて使いにくい状況。とてもスポーツを推進しているとは思えない状況。		
16~19歳	男性	若い人がいない、市に活気がないからスポーツをするイメージがわからない。
		人口減により団体競技には限界がある。個人で勝負ができて、誰もがはじめやすい、「走ること（ジョギングやマラソン等）」に目を向けるべきで
	女性	水泳が良い運動だと思うが、大町市にあるプール（ゆーぷる）だと、学生には少し高い。回数券はハードルが高い。市営の屋内プールがほしい
		中学校を卒業しましたが、外部指導者や施設予約が保護者負担でした。クラブ活動が強化されますよう協力いただけたらありがたいです。
		スポーツ施設が遠くて、親の負担が大きい。
		ゆーぷるのプールの水温を上げてほしい。風邪をひく。
		部活動で使用できる施設を増やしてほしい。
		市民のみんなでスポーツを身近に楽しめるようになればいい。

20歳代	男性	スケートボードの屋内施設、オリンピック競技でもあるのでぜひ雨や雪が降っても練習できるように、ぜひお願いします。 剣道場を造ってほしい。
	女性	スキーシーズン券の補助をお願いします。 全体的に広い施設が足りない。
30歳代	男性	大町市は人口減少の一途をたどり、10年後には小学校入学児童が100人減るといふ現状に、子供を持つ父親として危機感を感じています。また、大町市からほかの市町村へ移住する友人も多いです。理由は生活しやすさ（便利さ）や雪が少ない南へというのが理由のようです。
		自分は不便を感じていませんが、雪については老後を考えると不安があります。しかし、それを差し引いても生活するには十分だと思います。では、不十分さをなぜ感じるかということ、生活の不十分さを感じないほどの魅力がないからだだと思います。そこで、スポーツ推進というのは、大きなチャンスだと思います。2020年のオリンピックで活躍が期待される奥原希望さんでバドミントンについて盛り上がりを見せたいと思います。しかし、ここには可能性を感じます。少子化の現代で子供のためにと考える親は今後増えてくるはずで
		バドミントンに限らず「000なら大町」というものが強いと思います。
		自分は趣味でスノーボード、サーフィン、スケートボードをしますが、大町はかなり恵まれた環境だと思っています。（サーフィンはともかくです。）
		雪については、大町の強みであります。白馬へのアクセスの良さも有ります。スケートボードもグリーンパークを作ってもらい、近隣の市町村からも人が来ます。どちらもオリンピックの競技となり、注目を集めています。しかし、この分野については馴染みがあまりなく、正直、一般の方からの印象もあまりよいとは言えないということも感じています。イメージアップを図りたいと思っています。グリーンパークのゴミ拾いもしていま
		この分野において、大町には実力がある人たちが実はたくさんいます。（プロからアマまで）それがキッズにまで広がっていきつつありますが下火です。自分の趣味と重なり、偏った見方だということは十分承知の上ですが、この分野は、注目してほしいし、将来性の一端を担えるもののようにも思えます。
		市民全体の健康増進の視点も重要視しなければならないお立場でのアンケートかと思いますが、この機会に自分の思いを書かせていただきました。好き勝手なことを書いてすみません。自分でも力になれることがあれば、協力させていただきますので、スポーツ推進の取り組み、頑張ってください。（個人名、住所）
		安曇野市にある南部公園のような、子どもと一緒に楽しめ自由に使える施設がほしい
		冬や、悪天候時に使用できる屋内施設（アスレチック、ボルダリング、スケートパーク）
		トレーニングルームのバーベル等のグレード充実
		スクワットや、ベンチプレス等のラック（マルチラックでよい）
		団体の活動情報がほしい。（どういった活動をしているのか）
		安心してサイクリングが行える道路整備
		高速道路ができれば、スポーツ振興につながると思う。
		高齢者が多い大町においては、高齢者の運動機会を増やし、健康を保つことが大きな役割となると思います。
	野球場をきれいにしてほしい。	
女性	高齢者のスポーツ推進に力を入れてほしい。 三世代交流等、高齢者にいい刺激になるような催しがいいのでは。 スポーツで異世代の交流を。 気軽にフィットネスジム（機械）などが利用できると、少しずつ体力・筋力がつき、他スポーツへの参加へつながるのでは。 エアコンを体育館に設置して欲しい、 運動器具が使える施設が欲しい。	
40歳代	男性	安いプール施設。最低4コース スポーツ少年団への助成

		<p>スポーツがすべてではないと思うが、地域の環境面等を考えた時に良さを生かし切れていないように思う。</p> <p>夜間照明等の設備をしっかりとしてほしい。</p> <p>学校において、活躍している生徒や卒業生（奥原選手、松村選手、宇海選手等）を、種目にこだわらずクローズアップして、子どもの興味の幅を広げるべき。</p> <p>部活動において重視すべきは、生徒の自主性、保護者の理解、保護者の負担軽減。先生にも保護者にも負担はかけすぎないように。</p>
	女性	<p>身内に視覚障がい者が二人もいるのですが、運動ができません。家でルームランナーをする程度なので、活動する機会、指導者の下で出来たらありがたいです。</p> <p>友人がもう何年も前から、大町にちゃんとしたスポーツジムが無いと市外まで通っています。大町にもあればいい。</p> <p>スポーツ施設やイベントがあっても、なかなか参加できない</p> <p>高齢の方が健康で働ける大町市を目指す。</p> <p>技術向上より、健康や体力づくりをきっかけに参加するのでは</p> <p>仕事帰りに寄れるような、スポーツジム+25mプール+入浴施設のある施設がほしいと思います。ゆーぷるでは中途半端で、利用しにくい。営業時間も遅くまでやってほしい。直接スポーツ施策とは関係ないと思いますが</p>
50歳代	男性	<p>総合型地域スポーツクラブを充実し、子どもから大人まで各種スポーツを幅広く楽しめる環境を少しずつでもよいので整えてください</p> <p>陸上競技場に全天候グラウンドが必要</p> <p>誰もが参加しやすい行事の企画</p> <p>子供が減っているからこそ、市を挙げてもっと思い切った取り組みを。全員参加型でやるなど予算をかけてみてはどうか。</p> <p>大町は陸上競技のレベルが高い。もっと充実した競技場（特にトラック）でないと、せっかくの才能がもったいない</p> <p>屋外でも屋内でも、ランニングコースを作してほしい。</p> <p>十数年前に安曇野市より引っ越してきた際に、大町は子どもの運動が盛んだと思いました。</p>
	女性	<p>屋内運動場を増やす</p> <p>運動するだけでなく、観ることが出来る機会を増やしてほしい。</p> <p>もう少し気軽に、手軽にフィットネスジムなどができると、少しずつ体力、筋力がつき他のスポーツへの参加という可能性もあるかと思えます。</p> <p>技術向上よりも、健康や体力づくりをきっかけに参加。精神的にも若返り良い汗を流せるのでは。</p> <p>普段からゆーぷるを利用しています。先日設備も一部改修され、使いやすくなりました。ですがどうしても老朽化した箇所、備品等手狭になる場合があります。</p>
60歳代	男性	<p>人口の少ない所にも、公共スポーツ施設を多く増やしてほしい。</p> <p>地域や団体の行事として強制的に出席しなくてはならない環境を無くし、自発的に行えるような体制作り</p> <p>各個人の体力測定を気軽に行うことが出来る機会の企画、または装置の購入と設置を望む</p> <p>すぐに団体化するのは、昨今のスポーツ界におけるパワハラ等の問題を見ても、強力的でないのは明らかである。もっとスポーツ自体のハードルを下げて、血を入れ替えて若い人にやらせるべき。</p> <p>大町市にある城跡や噴騰丘などへのトレッキングコースをめぐるイベントをやってほしい。</p>
	女性	<p>高齢者でも体力維持できるような講座を開催して欲しい</p> <p>体育館の暑さ対策</p> <p>高齢者でも気軽に行ける施設、出来れば指導員が常駐する施設がほしい。</p> <p>松本山雅の試合を大町でも見たい</p> <p>教室で富士山に登るために週に一回トレーニングし、最終日にみんなで富士山に登る…というのはどうでしょうか。</p> <p>中心市街地に位置する西公園体育館の修繕工事をお願いしたい。天井の垂れ下がるゴムテープは、根本から直して頂きたい。</p> <p>水泳などのようにプール当施設が必要なものは、なかなかやりたくてもできないので、施設開放を兼ねて教室があればやってみたい。</p>

		運動の原点からの働きかけ（赤ちゃん体操から、介護予防、リハビリまで）を中心において、競技スポーツ振興やトップレベルの大会など、魅力のある施策を推進する。
		大町病院にロコモティブシンドローム課や、発達障害のデイサービスなどを設置し、体育課との連携で、スポーツ運動相談の対応や、運動がもたらす健康への利点を検証する。（投薬ではない療法で）
		高齢者の方が健康で働く大町市を目指す
		常盤南部には施設が全くない。高齢者が増えているので仕事の合間にできるような歩けるプールがあればいいと思います。
		公民館活動でのスポーツ教室で加齢に伴う体力維持できるような講座をお願いします。
		ローラースケート場に噴水施設
70歳以上	男性	バスケットゴールの設置
		高齢だからアンケートをもらっても困る
	女性	大きな競技会開催は賛成だが、よく道に迷っている車を見かける。（貝原踏切からよく迷う模様）駐車場看板など、増やしたり設置位置を検討する必要があるのではないか
		大町市南部にもスポーツ施設を。
		水中ウォーキングが出来る施設が欲しい。
	興味を持った初心者が楽しく、後からも続けられるように指導者を充実させてほしい。	